

SUWA SHINKIN BANK REPORT 2022



諏訪信用金庫
SUWA SHINKIN BANK

プロフィール

(令和4年3月末現在)

名称	諏訪信用金庫
本店所在地	〒394-8611 長野県岡谷市郷田2-1-8
電話番号	0266-23-4567
創立	昭和12年3月6日
店舗数	21店舗
ATMコーナー数	26ヶ所
常勤役職員数	278人
会員数	21,829人
出資金	8億72百万円
預金積金残高	4,132億 1百万円
貸出金残高	1,840億41百万円
自己資本比率	22.16%

経営理念

諏訪信用金庫は、みなさまと共に、
豊かな地域社会の実現をめざします。

経営方針

- ① 質の高い金融サービスの提供
- ② 法令遵守と健全経営の徹底
- ③ 職員の資質向上
- ④ 働きがいのある明るい職場づくり

CONTENTS

ごあいさつ	3
令和3年度業績ハイライト	5
令和3年度の主な活動内容	7
中小企業経営サポートの取り組み	13
金融仲介の取り組み	20
諏訪信用金庫について	23
索引/開示項目一覧	34

中期経営計画





諏訪信用金庫 会長

今井 誠



諏訪信用金庫 理事長

田中 輝明

皆さまには、平素から諏訪信用金庫に対しまして格別のご愛顧を賜り、心より厚く御礼申し上げます。ここに当金庫の現況につきまして、より深くご理解いただくために、経営方針ならびに令和3年度の業務・活動報告をまとめた「諏訪信用金庫ディスクロージャー2022」を作成いたしました。ご覧いただければ幸いに存じます。

金融経済環境

令和3年度は新型コロナウイルス禍が収束せず、影響が長期化した1年でした。国を挙げた東京オリンピック・パラリンピックは、史上初めて1年延期した上、緊急事態宣言下の都市での開催という異例の祭典となりました。地元の諏訪地方でも、地域を挙げて7年目ごとに行われる諏訪大社御柱祭の山出し祭が、感染状況から史上初の車両運搬に決まり、毎回大きな経済効果をもたらすイベントが準備段階から大幅に縮小されました。製造業は、世界的な脱炭素化の加速などで、半導体や自動車関連を中心に需要が急拡大しました。その一方で、コロナ禍からの回復には各国に格差があり、需給バランスが崩れ、供給網が乱れました。非製造業は、拡大と縮小を繰り返す感染状況に翻弄され続けました。このコロナ禍に加え、年度後半にはロシアのウクライナ侵攻という新たな経済的リスク要因が発生し、世界的な混乱となりました。

諏訪地方の企業も影響を受け、原材料や燃料、輸送費の高騰が企業収益を圧迫しました。製造業は、半導体をはじめ各種部材の不足が顕著になり、前年より受

注は増加したものの、生産ができないという状況に陥りました。特に自動車生産は断続的な減産を強いられ、諏訪地方の企業は大手メーカーの生産計画の動向に左右される状況が続きました。建設業もウッドショックが続きました。非製造業は巣ごもり需要があったものの、長野県に「まん延防止等重点措置」が適用され、時短要請や行動制限などで、観光や飲食、宿泊業を中心に、需要が減退しました。これに加え、ウクライナ情勢で供給網が遮断・混乱する恐れが強まり、資源高などの長期化に企業が警戒感を強めました。特にガソリン価格が高騰し、県内のレギュラーの平均価格は平成20年以来の1ℓ180円台となりました。厳しい状況下ですが、雇用情勢は製造業が牽引する形で、諏訪地方の有効求人倍率は、令和3年6月から上昇傾向が続いています。

当金庫の取組み

近年、金融業界はこうした想定外のリスクへの即応とともに、資金仲介の「量」とどまらず、個人や企業の実情に応じた包括的な金融サービスの「質」が求め

られています。当金庫は各営業店をフォローするため、個人向けの「しんきんライフプランセンター」、企業向けの「ビジネスサポートセンター」の2拠点を構築し、それぞれお客様のライフステージに合った「伴走型サポート」を行っています。さらに令和3年度は本部機能を持った「茅野オフィス」を開設し、全エリア内の金融サービス体制を充実しました。

また、ここ数年積極的に進めてきた多方面との連携で、課題解決の場面では専門機関のフォローが、本業サポートの「質」を高めています。コロナ後も見越して公立諏訪東京理科大学、NPO諏訪圏ものづくり推進機構と産学金の連携をした「SUWASHIN地域応援ファンド」は、今後の諏訪地方の経済活性化に貢献するとみられる新事業を次々とサポートしています。

令和3年度は、新3ヵ年経営計画「すわしん地域にエール2023」がスタートしました。目指すべき3年後の姿を「ファーストコールしたくなる身近で元気な信用金庫」とし、課題解決力やサポート体制の強化、お客様満足度の向上を目指す「もっとつながる」、安定した収益を確保する「もっと強く」、変革し続け柔軟性がある組織を作る「もっと究める」のチャレンジ目標の下、事業の数値目標と54の重要施策を行っています。

令和3年度の業績

預金積金残高は、法人預金が手元流動性資金の取り崩しにより減少しましたが、個人預金が増加したことから前期末対比59億58百万円増加(増加率1.46%)し、期末残高は4,132億1百万円となりました。貸出金残高は、コロナ禍で繰り延べになっていた設備投資の再開や税制改正前の住宅ローンの駆け込み

需要などから前期末対比25億75百万円増加(増加率1.41%)し、期末残高は1,840億41百万円となりました。

有価証券残高は、流動性が確保された商品を中心に残高を増加させましたが、評価損益の減少に伴い、前期末対比6億11百万円減少(減少率0.37%)し、期末残高は1,640億75百万円となりました。

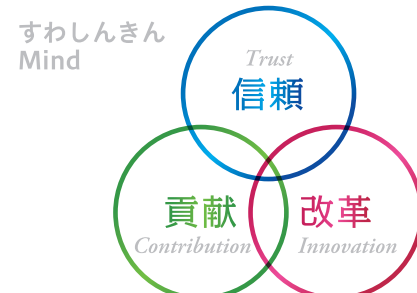
収益面においては、金融機関の主業務活動による利益を示すコア業務純益が、有価証券利息配当金の減少などにより前期末対比1億67百万円減少の7億90百万円、経常利益は信用コストの減少などにより前期末対比65百万円増加の10億81百万円、当期純利益も前期末対比86百万円増加の7億30百万円を計上することが出来ました。

展望と課題

令和4年度は、新3ヵ年経営計画「すわしん地域にエール2023」の中間年度となります。計画のキーワードを「変革の手を止めない」と定め、ウィズコロナ、アフターコロナ時代を見据えた各種施策をスピーディーに実行して参ります。

また、長引く新型コロナウイルス感染症に加え、ロシアによるウクライナ侵攻などの影響は諏訪地方の全産業、住民の生活まで幅広く及んでおります。引き続き「信用金庫の出番」として、資金需要への積極的な対応にとどまらず、一歩踏み込んだ本業支援に最大限の努力をしていく所存です。

当金庫は質の高い金融サービスの提供に加え、ビジネスサポート活動を積極的に行い、地域社会の活性化に貢献して参ります。今後とも、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



「すわしんきんMind」とは、経営理念、経営方針という経営上の信念のもとに、諏訪信用金庫の未来に向けて持続けたい、そして行動する上で常に心に刻んでおきたい役職員の共通の価値観を表したものです。

社会情勢、地域の課題など様々な環境の変化があろうとも、諏訪信用金庫で働く役職員すべてが「ファーストコールしたくなる 身近で元気な信用金庫」の実現に向けて、常に変わらぬもの(変えてはいけないもの)として共有します。

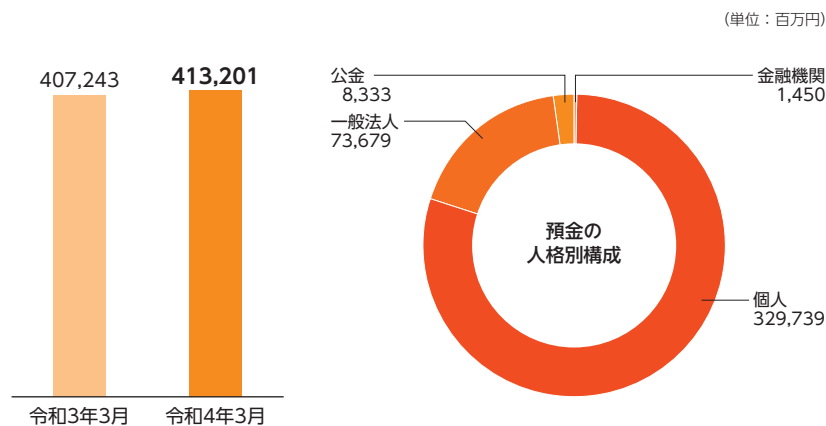
令和3年度業績ハイライト

●預金積金残高

4,132億円

前期末比+59億円

預金積金残高は、個人のお客さまからの預金を中心に順調に推移し、前期末比59億58百万円増加しました。

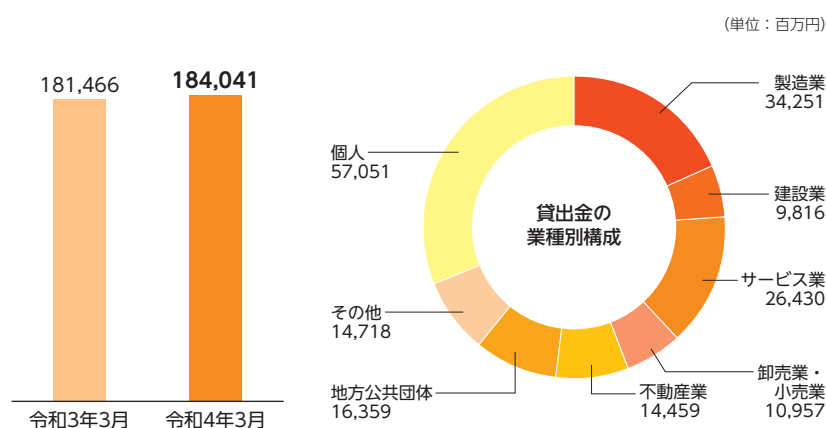


●貸出金残高

1,840億円

前期末比+25億円

貸出金残高は、地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、前期末比25億74百万円増加しました。

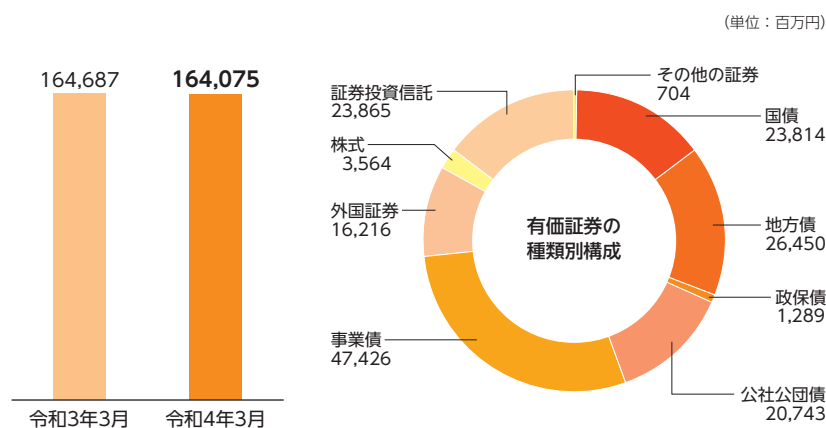


●有価証券残高

1,640億円

前期末比△6億円

有価証券運用は、流動性が確保された商品、リスクの所在が明確な商品を中心とした運用を心掛けております。

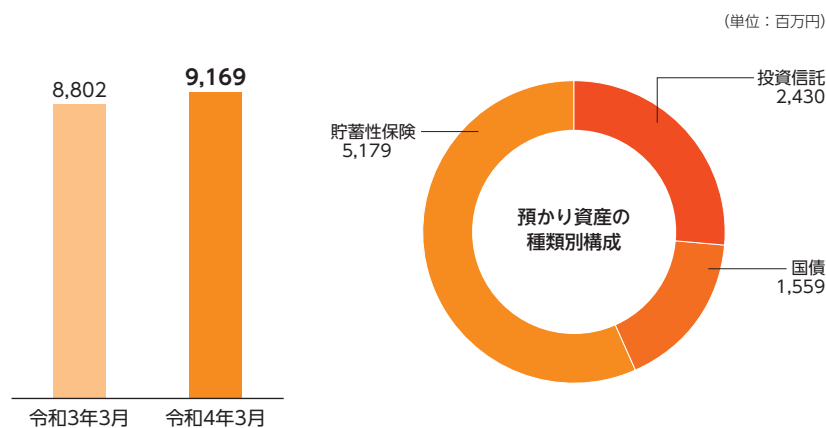


●預かり資産残高

91億円

前期末比+3億円

お客さまの保有資産の状況や運用方針に合わせた、商品やサービスの提案を行っております。



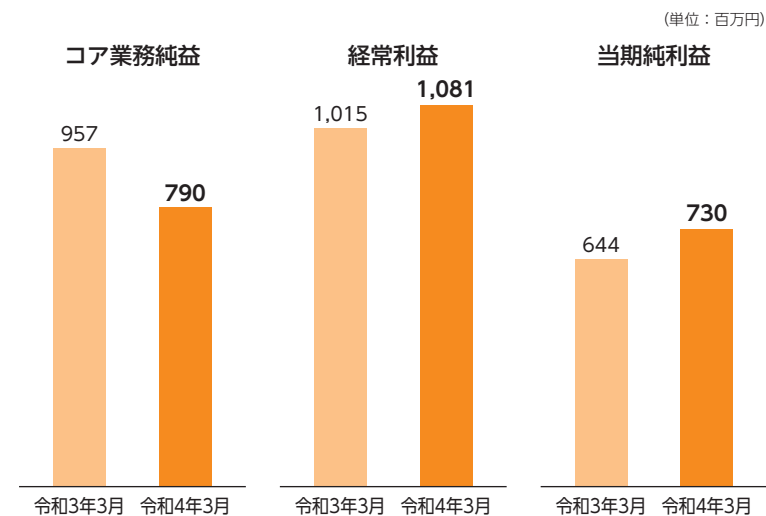
●当期純利益

7億円 前期末比+0.8億円

金融機関の主業務活動による利益を示すコア業務純益は、有価証券利息配当金の減少などにより、前期末比1億67百万円減少しました。

一方、経常利益は信用コストの減少などにより、前期末比65百万円増加、当期純利益も86百万円増加しました。

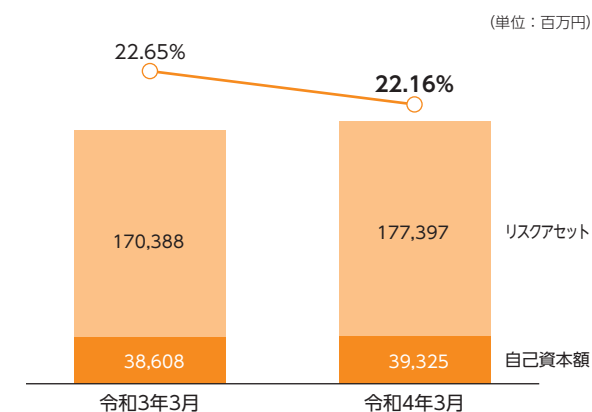
今後も、地域のお客さまのニーズにお応えできる業務展開と安定的な収益確保により、「安心と信頼」のさらなる向上に努めてまいります。



●自己資本比率

22.16% 前期末比△0.49%

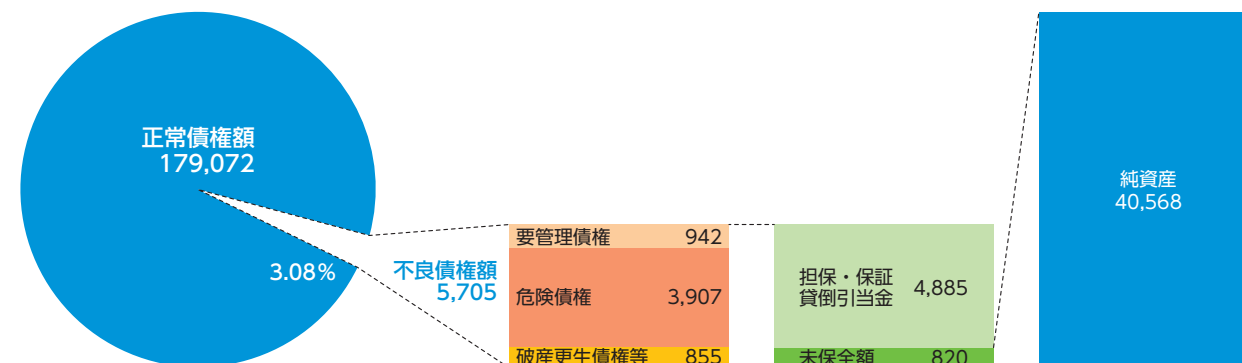
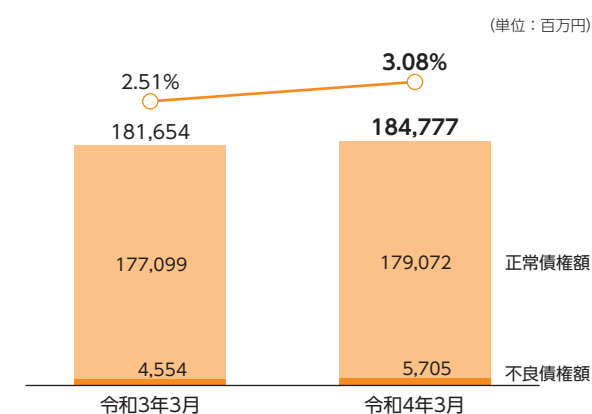
自己資本比率は、金融機関の健全性を示す指標として用いられ、その水準が高いほど、経営がより健全であることを示しています。令和4年3月期における自己資本比率は22.16%であり、金融庁告示に定められている国内基準4%を大幅に上回っています。



●不良債権比率

3.08% 前期末比+0.57%

金融再生法に基づく不良債権額は、コロナ禍の情勢を鑑み、予防的な引当を含めて積み増した結果、前期末比11億50百万円増加の57億5百万円、不良債権比率は0.57ポイント増加し3.08%となりました。不良債権のうち85.6%は担保、保証等により保全されており、保全されていない部分は8億20百万円となりますが、当金庫は405億円の純資産を備えており、影響は極めて少ないものとなっています。



SDGs宣言



当金庫は、国連で採択された持続可能な開発目標に賛同し、令和元年6月21日、SDGs宣言を行いました。「地域社会」、「地域環境」、「地域経済」の3つの側面から、地域の持続可能な社会・環境・経済の実現に貢献します。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	4 質の高い教育をみんなに	5 ジェンダー平等を実現しよう	6 安全な水とトイレを世界中に
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	8 働きがいも経済成長も	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	10 人や国の不平等をなくそう	11 住み続けられるまちづくりを	12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に具体的な対策を	14 海の豊かさを守ろう	15 陸の豊かさを守ろう	16 平和と公正をすべての人に	17 パートナリーシップで目標を達成しよう	

SDGs「持続可能な開発目標」

2015年9月の国連サミットで採択された目標です。

17のゴールと169のターゲットが定められ、政府・自治体・企業・諸団体・個人一人ひとりに役割があり、協力・連携しながら目標達成を目指すものです。

SDGsの達成に向けて

SDGs定期預金

当金庫のSDGsへの取組みに賛同していただいたお客さまを対象に特別金利のSDGs定期預金「諏訪の森」を発売しました。御柱祭の御用材育成に役立てるために、諏訪大社に募集総額30億円の0.01%相当額の30万円を寄付しました。



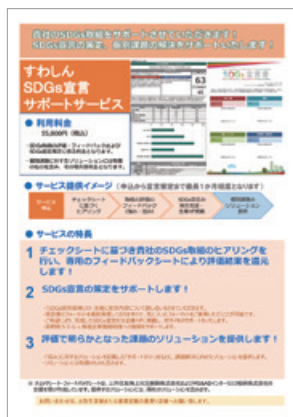
SDGsサポートローン

SDGsや脱炭素経営に取り組むお客さまの資金ニーズに応えるため、「諏訪信金SDGs・脱炭素サポートローン」の取扱いを開始しました。再生可能エネルギー、省エネルギー設備資金やSDGsの取組みに係る運転・設備資金にご利用いただけます。



SDGs宣言サポートサービス

社会的に関心が高まっているSDGsへの取組みをサポートするため、三井住友海上火災保険株式会社と提携し「すわしんSDGs宣言サポートサービス」の提供を令和4年4月27日より開始しました。お客さまのSDGs達成に向けた取組状況の見える化、それらを踏まえたSDGs宣言策定のサポート、見える化された課題に対するソリューションの提供をするサービスです。



SDGs債への投資

当金庫では、長野県が発行したグリーンボンドをはじめ、環境・社会課題に貢献する事業に資金が充当されるグリーンボンドやソーシャルボンド、サステナビリティボンドに投資を行っています。令和3年度は27億円、累計で60億円の投資を行いました。今後もSDGs債への投資を通して、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

地域ボランティア活動

しんきん諏訪湖スタジアムでの美化活動

「諏訪湖スタジアム」のネーミングライツ取得後、平成29年度から美化活動を実施しています。令和3年度は1回実施し、雑草除去やゴミ拾いを行いました。ご来場いただくすべての皆さまが、しんきん諏訪湖スタジアムに愛着を持っていただけるよう今後も取り組んでいきます。

営業店周辺の清掃活動

本店及び営業店周辺道路の清掃活動を春と秋の2回実施しました。

諏訪湖一斉清掃への参加

新入職員の環境教育も兼ね、毎年参加しています。

「諏訪湖アダプトプログラム」への参加

長野県諏訪建設事務所が主催する諏訪湖の美化活動へ平成24年度から参加しています。担当エリアの下諏訪町赤砂の十四瀬川河口から、砥川河口の湖岸のゴミ拾いを行っています。令和3年度は担当区画の清掃活動を2回実施しました。また、「諏訪湖アダプトプログラム」の活動が10周年を迎え、諏訪建設事務所長から感謝状を授与されました。



自然環境保全活動

環境保全への取組み

当金庫は、ノーマイカー通勤やノー残業デー、クールビズ・ウォームビズの実施といった自主活動を続けています。また、エコカー・エコ住宅・エコリフォームに対する融資金利優遇や、太陽光発電専用ローンの販売推進等の営業活動を積極的に行っています。

諏訪地域環境保全推進キャンペーン「キラメクスUWAKO」

当金庫のSDGsへの取組みの一環として、「諏訪地域の環境保全推進」に賛同していただいたお客さまを対象に、環境保全に関わるローン商品のキャンペーンを行いました。また、同キャンペーンに合わせて、霧ヶ峰の環境保全のため、霧ヶ峰自然環境保全協議会と霧ヶ峰草原再生協議会に20万円を寄付しました。



森林の里親事業の実施

平成26年5月に北真志野生産森林組合と「森林の里親契約」を締結以降、森林整備活動を毎年、春と秋の2回実施しています。令和3年度は秋に樹木の伐採や枝打ちなどを行いました。(春は新型コロナウイルス感染症の影響で中止)



諏訪信用金庫 環境方針

当金庫は地域環境・地球環境の保全に配慮した事業活動を通じて、地域金融機関としての社会的責任、公共的使命を果たしていきます。

- 1 適用可能な法的要求事項および当金庫の環境側面に関して、当金庫が同意するその他の要求事項を順守します。
 - 2 環境管理システムを構築し、全要員参加により継続的改善への取り組みと、環境汚染の未然防止と環境保全に努めます。
 - 3 この方針に沿って環境目的および目標を設定し、かつ見直します。
 - 4 当金庫は次のような課題を掲げ、全要員一丸となって取り組みます。
 - ①省エネルギー・省資源の推進 ②資源のリサイクル ③環境配慮型の金融商品、サービス、情報の提供 ④地域美化運動への参加
- この環境方針は、全要員に周知徹底し、また当金庫外へも公表します。

地域貢献活動

飲食店のテイクアウトを利用

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受ける諏訪地域のお取引先の飲食店を応援するため、昨年度に引き続き、当金庫と関連会社の役職員が自主的に飲食店のテイクアウトを利用しました。

1年間の利用店舗数は145店、利用総額は約326万円となりました。



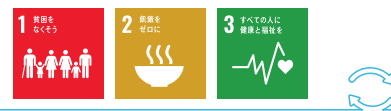
コロナ禍の学生たちに支援物資を

コロナ禍の公立諏訪東京理科大学の学生を支援するため、当金庫の役職員から食料品や日用品などを募り、同校へ届けました。4,754点の物資が集まり、353名の学生へ配布されました。



新型コロナウイルス対策支援

新型コロナウイルス感染拡大防止を願い、コロナ対策支援の定期預金を発売しました。募集総額の0.02%相当額の100万円を新型コロナウイルス感染対策に活用していただくため諏訪広域連合へ寄付しました。



親元を離れた子どもたちを支援

岡谷市川岸の児童養護施設つつじが岡学園に支援金10万円とコメ60kgを寄付しました。

当金庫は創立80周年記念を契機に毎年、親元を離れたるをえなくなった子どもたちに継続的な支援をしています。



諏訪地方4市町へ災害支援金寄付

8月15日と9月5日の記録的な大雨により、諏訪地方では、各地で被害が発生しました。復旧支援に役立ていただくため、当金庫と関連会社の役職員から支援金を募り、総額で34万3千円を岡谷市、下諏訪町、諏訪市、茅野市の諏訪地方4市町へ寄付しました。



茅野オフィス開設（茅野本町支店2階）

令和3年7月に「茅野オフィス」を茅野本町支店2階に開設しました。「茅野オフィス」は代表理事直轄の本部組織で、茅野市、富士見町、原村地域の営業体制強化を目的として、主に同地域における取引先の状況や情報収集、支援策の策定等を行います。これまで以上に地域に密着したサポートを行っていきます。



信濃グランセローズの公式戦に無料招待

しんきん諏訪湖スタジアムで行われる信濃グランセローズの公式戦に、諏訪地方の小学生を招待する取り組みを行いました。諏訪広域連合の金子ゆかり連合長に約1万人分の「こども入場券引換券」を贈呈しました。



しんきんカップ少年サッカー大会開催

令和3年11月20日に諏訪市スポーツ広場にて、地域のスポーツ振興や、スポーツを通じて次世代を担う子どもたちを積極的に支援するために、「しんきんカップ少年サッカー大会」を開催しました。今年で8回目の開催となり、諏訪地域の少年サッカーチーム10チームで100人以上の子どもたちが参加しました。



6月15日は「信用金庫の日」

「信用金庫法」が昭和26年6月15日に公布・施行されたことにちなみ、6月15日を「信用金庫の日」と定め、毎年全国の信用金庫で様々な地域貢献活動が行われています。当金庫では、職員が献血及び募金活動を行いました。



(協賛：独立行政法人日本スポーツ振興センター)

お客さまに安心してご利用いただくために

当金庫では、特殊詐欺被害などからお客さまの大切なご預金を守るための取り組みをしています。

商業店舗で特殊詐欺防止の啓発活動

岡谷、諏訪、茅野の3警察署と連携し、12月の年金支給日に各所管内の商業施設で特殊詐欺防止の啓発活動を行いました。「その言葉、詐欺です!!」の文字とともに、本店と3警察署の電話番号が記載されたメモ帳を啓発チラシと一緒に配布しました。



ATM取引の一部利用制限

ご高齢のお客さまを対象とした振り込み詐欺等の特殊詐欺による被害を未然に防止するため、当金庫では、令和4年4月11日より次の70歳以上のお客さまが保有する口座のATM取引を一部制限しています。

- ①過去2年間出金取引の無い口座
- ②過去2年間ATM振込取引の無い口座



地域の活性化のための取組み

オンラインシンポジウム「諏訪ブランドタウン“キラリ”の創生」の開催

NPO諏訪圏ものづくり推進機構と当金庫との共催でYouTubeを用いて、オンラインシンポジウム「諏訪ブランドタウン“キラリ”の創生」を開催しました。シンポジウムでは、諏訪地域の経営者や大学の代表者が「SDGs視点で地域産業を考える」をテーマにピッチ大会を行い、その後、ピッチ大会を踏まえて「諏訪の可能性」についてパネルディスカッションを行いました。



富士見町商業環境調査

町内商業の現状や課題を把握する「富士見町商業環境調査」について、富士見町と町商工会より委託を受け、信金中央金庫と共同で行いました。町内商業者や事業者へのヒアリングや意見交換会、観光客や買い物客、高校生等へ様々なアンケートや現地調査を実施し、最後には全戸配布による全町民向けアンケート調査を行いました。令和4年3月に、集計報告と調査結果から推測される検討課題について報告書を提出しました。



若手経営者・後継経営者の育成

若手経営者、後継経営者を中心に組織化した「ユースクラブ」「ビジネスクラブ」には約320名の会員が加入しており、諏訪エリア内で最大規模の組織となっています。同クラブでは経営者や会員企業社員を対象とした各種研修会や講演会を開催しています。

令和3年度は中間管理者対象「ポジティブリーダーシップ研修会」や、若手社員対象「早期育成研修会」を実施しました。また、多方面で活躍されている池上彰さん、橋下徹さんのWEB経済講演会を開催し多くの会員が視聴しました。



地域活性化に向けての協定

当金庫では、地域活性化に貢献するために多方面にわたり連携協定を締結しています。

締結先	連携名	内容
岡谷市 岡谷商工会議所	岡谷シルクを活かした地域活性化に向けた連携協定	「オール岡谷産シルク」などを活用し、地域おこしにつなげる事業に取り組む。
第一勧業信用組合	地方創生における包括連携協力協定	定住人口の増加対策や地域産品販路拡大、安定雇用、商品開発などのお客さまニーズに対応する。
甲府信用金庫 しずおか焼津信用金庫 山梨信用金庫	中部横断自動車道開通に伴う連携協定 ～しんさん中部横断道コネクト～	4信金のネットワークを活用し、観光振興、商圈拡大、災害時の復興支援などに取り組む。
NPO法人SUWA次世代の学び推進フォーラム	連携協定	民間の教育力で子どもの学びを支援する。

次世代育成支援と女性活躍推進、子育てサポート

一般事業主行動計画

すべての職員がその能力を十分発揮し、安心して働き続けることが出来る雇用環境の整備を図るとともに、次世代育成支援において地域に貢献する金融機関となるために、次のような行動計画を策定しています。

- ・男性の子育て目的の休暇取得を促進します。
- ・有給休暇取得日数を一人当たり年間平均10日以上とします。
- ・大学生（短大生等含む）のインターンシップ制度を継続的に実施します。

女性活躍推進に係る行動計画

女性職員が継続的に働き、キャリアを積み重ねることが出来る環境を整える必要があります。キャリアを重ねた職員を管理職に登用していきませんが、そこでの女性職員が占める割合を増やしていきます。

目標として管理職に占める女性労働者の割合を8%以上に掲げています。

子育てサポート企業

当金庫では次世代育成支援行動計画に取り組み、その実績により長野労働局より「子育てサポート企業」として「くるみん」が認定されました。今後も引き続き取り組み、職員が働きやすい職場環境づくりと地域社会に貢献してまいります。



仕事と家庭の両立が出来る職場環境の改善と雇用の安定

長野県が職場環境改善事業の一環として、誰もがいきいきと働くことが出来る職場づくりに先進的に取り組み、実践する企業を「職場いきいきアドバンスカンパニー」に認定しています。3種類あるコースのうち、様々なライフスタイルやニーズに合わせた働き方が出来る企業として「ワークライフバランスコース」、若者や氷河期世代の育成に積極的に取り組む企業として「ネクストジェネレーション」の2コースで認証をいただきました。

